

定期作況報告

平成26年10月
(10月20日現在)

北海道立総合研究機構 北見農業試験場

1. 気象経過

9月下旬：最高気温は平年よりやや高く、最低気温は平年よりやや低く、平均気温は平年並であった。降水量は平年より少なかった（平年比6％）。日照時間は平年並であった（平年比117％）。

10月上旬：最高気温は平年より低く、最低気温は平年より極めて低く、平均気温は平年より低かった。降水量は観測されなかった。日照時間は平年並であった（平年比96％）。

10月中旬：最高気温は平年より極めて低く、最低気温は平年並で、平均気温は平年よりやや低かった。10月16日に初霜が観測された。降水量は平年より多かった（平年比142％）。日照時間は平年並であった（平年比81％）。

以上のことから、この1か月間（9月下旬～10月中旬）は平年と比較して、気温はやや低く、降水量は少なく、日照時間は平年並であった。

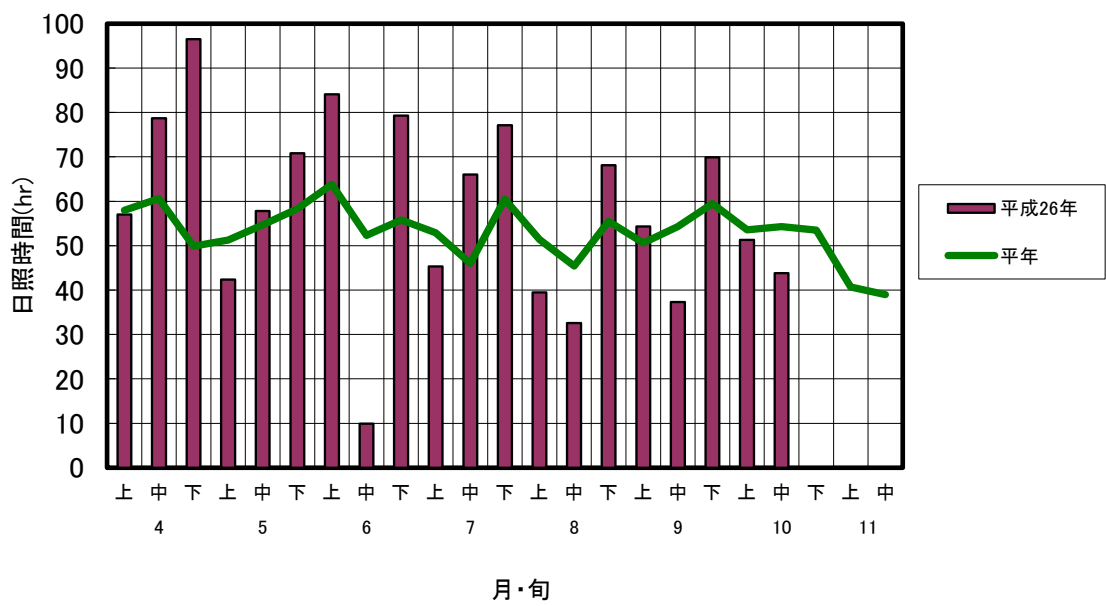
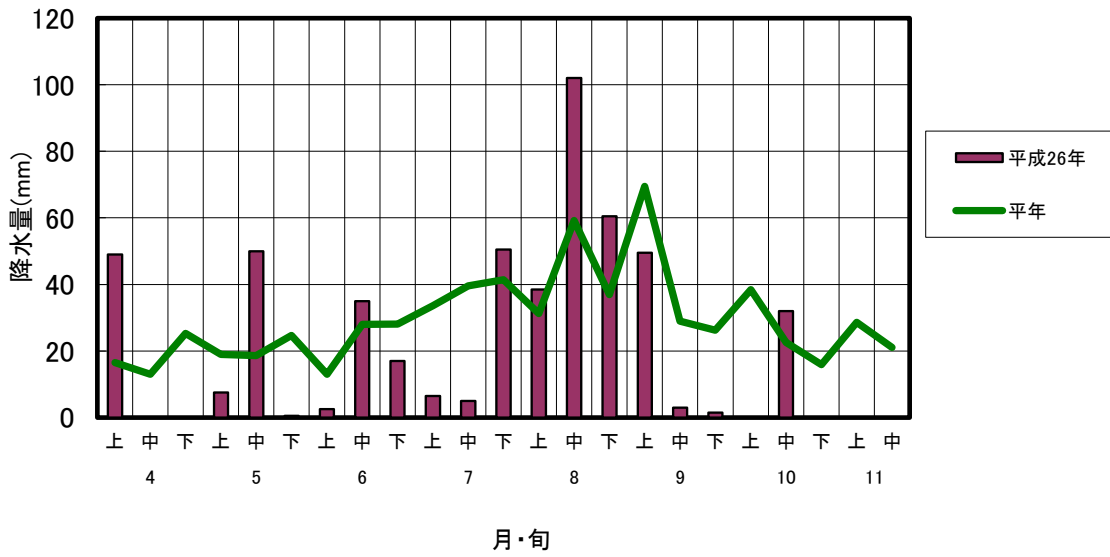
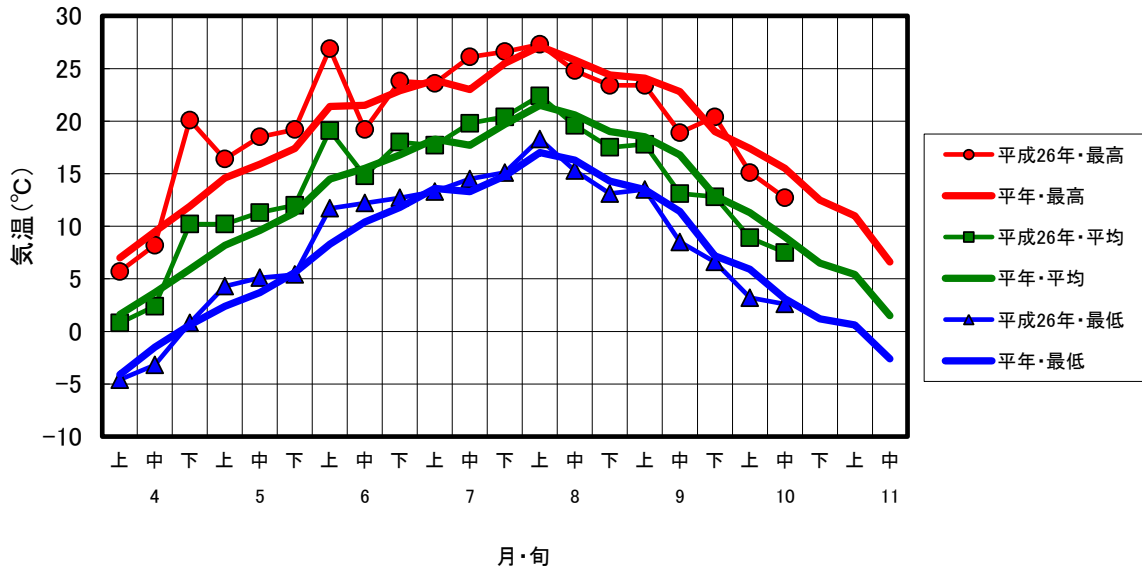
気 象 表

項目 月・旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9月下旬	12.8	12.9	△0.1	20.4	19.0	1.4	6.6	7.2	△0.6
10月上旬	8.9	11.3	△2.4	15.1	17.4	△2.3	3.2	5.9	△2.7
10月中旬	7.5	9.0	△1.5	12.7	15.5	△2.8	2.6	3.1	△0.5

項目 月・旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9月下旬	1.5	26.2	△24.7	69.9	59.5	10.4
10月上旬	0.0	38.4	△38.4	51.3	53.6	△2.3
10月中旬	32.0	22.6	9.4	43.8	54.3	△10.5

注1) 観測値は置戸町境野のアメダスデータである。

2) 平年値は前10か年間の平均である。



2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走管内全体を代表するものではありません。

1) とうもろこし(サイレージ用)

作 況：平年並

事 由：収穫期は平年より3日早い9月22日であった。収穫時の稈長は平年よりやや短く、子実の熟度は糊熟後期～黄熟初期と平年よりやや遅れたものの、総体の乾物率は平年より高かった。乾物茎葉重は平年並で、乾物雌穂重は平年よりやや多く、乾物総重ならびに推定TDN収量は、それぞれ平年比102%、104%といずれも平年並であった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
収穫期 (月・日)	9.22	9.25	△3
収穫時の熟度	糊熟後期 ～黄熟初期	黄熟初期	-
稈長 (9月20日) (cm)	272	282	△10
生総重(kg/10a)	6439	6802	△363
乾物茎葉重(kg/10a)	950	991	△41
乾物雌穂重(kg/10a)	1096	1008	88
乾物総重(kg/10a)	2046	1998	48
同上平年比(%)	102	100	2
推定TDN収量(kg/10a)	1484	1433	51
同上平年比(%)	104	100	4
総体の乾物率(%)	31.8	29.4	2.4
乾雌穂重割合(%)	53.6	50.3	3.3
有効雌穂割合(%)	98.3	100.0	△1.7

注) 平年値は前7か年中、平成19年(最豊)、25年(最凶)を除く5か年の平均。

2) 大豆 作況：良

事由：成熟期は平年より4日早い9月22日であった。一莢内粒数は平年並で百粒重は平年をやや下回ったものの、着莢数が平年を上回り、子実重は平年比109%であった。

以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目	ユキホマレ		
	本年	平年	比較
成熟期 (月.日)	9.22	9.26	△4
着莢数(個/株) (成熟期)	78.5	66.9	11.6
一莢内粒数	1.81	1.80	0.01
子実重(kg/10a)	409	374	35
同上平年比(%)	109	100	9
百粒重(g)	36.1	37.6	△1.5
屑粒率(%)	0.7	1.9	△1.2

注1) 平年値は前7か年中、平成21年(最凶)、23年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 子実重と百粒重は水分15%換算。

3) 小豆 作況：平年並

事由：両品種ともに着莢数は平年を下回ったものの、一莢内粒数および百粒重がほぼ平年並で、子実重は「サホロショウズ」が平年比103%、「エリモショウズ」が同96%であった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	サホロショウズ			エリモショウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
着莢数(個/株) (成熟期)	56.1	63.4	△7.3	52.9	63.3	△10.4
一莢内粒数	5.63	5.81	△0.18	6.36	6.25	0.11
子実重(kg/10a)	418	406	12	415	434	△19
同上平年比(%)	103	100	3	96	100	△4
百粒重(g)	15.1	14.8	0.3	14.1	14.0	0.1
屑粒率(%)	1.5	2.1	△0.6	1.8	1.7	0.1

注1) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、20年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 子実重と百粒重は水分15%換算。

4) 菜豆 作況：平年並

事由：百粒重は平年をやや下回ったものの、着莢数および一莢内粒数がほぼ平年並で、子実重は平年比104%であった。なお、成熟期前の降雨により色流れ粒が発生し、屑粒率は平年より高かった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	大正金時		
	本年	平年	比較
着莢数(個/株) (成熟期)	21.7	19.4	2.3
一莢内粒数	3.01	2.97	0.04
子実重(kg/10a)	356	343	13
同上平年比(%)	104	100	4
百粒重(g)	69.4	73.6	△4.2
屑粒率(%)	18.7	3.2	15.5

注1) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、23年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 子実重と百粒重は水分15%換算。

5) ばれいしょ 作況：やや良

事由：「コナフブキ」の枯ちょう期は平年より3日遅い10月7日であった。上いも数は平年並で、上いも平均重は平年を上回った。このため、上いも重は平年を上回り、でん粉価が平年より高かったことから、でん粉重は平年をかなり上回った。

以上のことから、前報の「男爵薯」と併せ、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	男爵薯			コナフブキ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
枯ちょう期 (月.日)	9. 1	9. 2	△ 1	10. 7	10. 4	3
上いも数(個/株)	11.9	10.1	1.8	10.2	10.5	△0.2
上いも平均重(g)	83	100	△17	118	105	13
上いも重(kg/10a)	4370	4512	△142	5326	4864	462
同上平年比(%)	97	100	△ 3	109	100	9
でん粉価(%)	15.8	14.8	1.0	23.4	21.6	1.8
でん粉重(kg/10a)	—	—	—	1188	1003	185
同上平年比(%)	—	—	—	118	100	18

注) 平年値は前7か年中、平成22年(最凶)、24年(最豊)を除く5か年の平均。

6) てんさい

作 況 : 良

事 由 : 収穫は平年並の10月20日に行った。この1ヶ月間は生育が順調に進み、根重は平年を上回った。また気温が平年より低めに推移したため、根中糖分は順調に上昇し、平年を上回った。その結果、糖量は平年をかなり上回った。

以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			リッカ (参考)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
茎葉重 (kg/10a) (10月20日)	5710	5669	41	5070	5853	△783	4630	4131	499
根重 (kg/10a) (10月20日)	8010	7273	737	7740	7418	322	7130	6645	485
根中糖分 (%) (10月20日)	18.05	16.65	1.40	19.09	17.08	2.01	18.87	16.67	2.20
糖量 (kg/10a) (10月20日)	1445	1208	237	1476	1264	212	1344	1105	239

注1) 平年値は前7か年中、平成21年(最豊)、22年(最凶)を除く5か年の平均。

注2) 直播「リッカ」は参考品種、平年値は前4か年の平均。

7) 牧草(チモシー)

作況: やや不良

事由: 3番草の収穫は平年より3日早い10月2日に行った。3番草の草丈は平年よりやや高く、乾物収量は平年比117%と平年より多かった。1～3番草の合計乾物収量は、平年比94%と平年よりやや少なかった。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目		ノサップ		
		本年	平年	比較
刈取日(月.日)	3番草	10.2	10.5	△3
病害罹病程度	3番草	3.3	3.7	△0.4
草丈(cm)	3番草	49	43	6
生草収量(kg/10a)	3番草	592	585	7
	1～3番草合計	3904	4199	△295
乾物率(%)	3番草	32.5	28.9	3.6
乾物収量(kg/10a)	3番草	192	164	28
	1～3番草合計	896	957	△61
同上平年比(%)	3番草	117	100	17
	1～3番草合計	94	100	△6

注1) 平年値は前7か年中、平成21年(最凶)、24年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 病害罹病程度は、1:無または微～9:甚。病害は主に斑点病。